

お悩み相談&アドバイス ～助動詞で「～したほうがいい」を伝える～

Class _____ No. _____ Name _____

 **今日のゴール** 助動詞(should / must / can など)を使って、友だちの悩みに英語でアドバイスしよう。

STEP 1 お手本を読んで、声に出してまねしよう。

A: I have a cold.

B: You **should** go to bed early. You **must not** go out today.

A: I want to be good at English.

B: You **can** watch English movies. You **should** practice every day!

アドバイスは should(～したほうがいい)、must(～しなければ)、must not(～してはいけない)、can(～できる・してよい)を使い分ける。

STEP 2 使える表現(この中から選んで使おう)

You should ～.

You must ～.

You must not ～.

You can ～.

Why don't you ～?

How about ～ing?

STEP 3 悩みと、それに対するアドバイスを2つずつメモしよう。

悩み	アドバイス(should / can など)

STEP 4 悩みへのアドバイスを、助動詞を使って書こう。

✓ お手本と表現バンクを見ながらでOK。まちがいを恐れず、まず書いてみよう。

お悩み相談&アドバイス ～助動詞で「～したほうがいい」を伝える～【つたえる・ふりかえる】

Class _____ No. _____ Name _____

STEP 5 ペアやグループで、相談とアドバイスをし合おう。

できたらチェック：

- ☐ ① ペアで、一人が悩みを言い、もう一人がアドバイスする
- ☐ ② 役割を交代する
- ☐ ③ グループで、いちばんよかったアドバイスを1つ選んで発表する

自己評価 できたところに ○ をつけよう(正直に！)

ふりかえりの観点	◎ よくできた	○ できた	△ もう少し
① 内容 言いたいことが相手に伝わった			
② 正確さ 習った表現を正しく使えた			
③ 流暢さ あまり止まらずに言えた			
④ 態度 相手を見て、聞こえる声で言えた			

ふりかえり 次はどうしたい？ できるようになったこと・次の目標を1つ書こう。

☆発展チャレンジ！ 理由(because it is good for you)や、Why don't you ~? / How about ~ing? も使って、アドバイスにバリエーションを出そう。

先生へ(この教材のねらいと進め方)

ねらい:助動詞を、アドバイスするという目的のある場面で運用させる。should / must / can の意味の違いと、「助動詞のあととは原形」を産出で固める。

進め方:STEP1でモデルを音読 → STEP3で悩みとアドバイスをメモ → STEP4で下書き → STEP5でペアで相談ごっこ→グループ発表。

見取り:助動詞のあとが原形か/should と must の意味を使い分けているか/must not(禁止)を正しく使えているか。評価は裏面の4観点で。